式　　辞

令和４年　春のこの佳き日に、埼玉県立新座柳瀬高等学校　第１５回　入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。

ただ今、入学を許可いたしました２０１名の皆さん、そして保護者の皆様、本校への入学、誠におめでとうございます。教職員一同、心から歓迎いたします。

晴れの入学にあたり、私から高校３年間の大切な心構え「守・破・離（しゅ・は・り）」についてお話ししたいと思います。

「守・破・離」とは、もともと日本の武道や芸術の世界で、技術を習得していくプロセスを示したものですが、勉強やスポーツ、ビジネスなどの世界で成功する人は、必ずと言っていいほど、この「守・破・離」を大切にしています。

「守」は、基礎基本を徹底的に身に付ける段階で、これは１年次が該当するかと思います。社会でのルールやマナーをしっかりと身に付けていただきたいと思います。

次の「破」の段階では、自分自身の強みや優れた点を知り、それを伸ばすことで自分にあった型を作っていくことになります。これは２年次の後半頃ではないでしょうか？うまくいかなければ何度でも「守」の基本に戻ってほしいと思います。

最後の「離」は、自らの進路を定め、それを実現し、学び舎を巣立っていく段階です。

民法改正に伴い、この４月から１８歳が成人年齢となり、ここにいる多くの皆さんは、高校在学中に「成人」を迎えることになります。皆さんは社会において、一人の大人としての責任を果たしていかねばなりません。

現在、新型コロナウイルスの感染防止のため、不自由な思いをしている人も多いことと思いますが、大切な命を守るため、まだ辛抱の日々が続くと思います。マスクを外して笑顔で語り合える日が戻ってくることを信じ、一日一日を大切に過ごしてください。

今、お話しした「守・破・離」を大切にし、本校での３年間を通じて、皆さんが立派な人間に成長し、本校を巣立っていくことを祈念し、式辞といたします。

令和４年４月８日

埼玉県立新座柳瀬高等学校　校長　　伊藤　孝人